

平成27年 交通安全年間スローガン

- **一般部門A 内閣総理大臣賞(最優秀作)** (敬称略)
 運転者(同乗者を含む)へ 呼びかけるもの **早めから つけるライトで 消える事故**
 村岡 孝司 (兵庫県 丹波市)
- **一般部門B 内閣総理大臣賞(最優秀作)**
 歩行者・自転車利用者へ 呼びかけるもの **外出は 明るい笑顔と 反射材**
 濱渦 幸嗣 (高知県 高知市)
- **子ども部門 内閣総理大臣賞(最優秀作)**
 子ども(中学生以下)へ 呼びかけるもの **ルールむし しん号むしは わるいむし**
 後藤 悠仁 (静岡県 富士宮市)



平成26年中 交通死亡事故発生状況



区分	年別	平成26年	平成25年	増減数
死亡事故件数		109件	90件	+19件
死者数		112人	94人	+18人

平成26年の交通事故死者数は、4年ぶりに100人を超え、112人と大幅に増加しました。交通事故の特徴をみますと、全死者数のうち高齢者の死者が57人(50.9%)で半数を超えたほか、歩行者や自転車利用者などの交通弱者は54人(48.2%)でした。また四輪乗車中の死者38人中、6割を超える23人がシートベルト非着用者で、このうち11人はシートベルトを着用していれば助かったと推定されます。

三重県交通安全協会は、交通事故をなくすため、幅広い活動を行っています。

交通安全協会の活動は、皆さんからご協力いただいた会費で支えられています。

三重県交通安全協会の活動にご協力をお願いします。

- ★ **運転者会員**
3年会費...1,500円 5年会費...2,500円
※ 途中入会の方は、免許の有効年の残り年数1年当たり500円となります。
- ★ **賛助会員**
当協会の活動に賛同していただく事業所・団体及び個人の皆様にご協力いただいております。

三重県交通安全協会是一件でも交通事故をなくし、一人でも多くの方の命を守るために活動しています。お住まいの地域で悲惨な交通事故をなくすために、当協会の活動にぜひご支援・ご協力をお願いします。



会員の皆様へ協賛店サービス

県内外の各店舗のご協力により“会員の店”（約1,000店舗）での優待（料金の割引等）がご利用いただけます。

なお、「会員の店」（協賛店）情報は携帯サイトアドレス及びQRコードからも検索できます。

【携帯サイトアドレス】
<http://www.mie-ankyo-mise.com/mobile/>



対応携帯機種であれば、ここからアクセスできます。

【QRコード】

三重県交通安全協会では、「協賛店」を募集しています。各地区交通安全協会へお問い合わせください。

この広報紙は(一社)日本自動車販売協会連合会三重県支部・(一社)全国軽自動車協会連合会三重事務所のご協力を得て、当協会が作成・発行しています。



(一財)全日本交通安全協会作成による交通ルールの遵守・マナーの向上等のためのロゴマークです。

(一財)三重県交通安全協会

交通安全みえ

2015 / 新年号 No.190

発行所

(一財)三重県交通安全協会
 三重県交通安全活動推進センター
 (三重県公安委員会指定)

〒514-0004
 津市栄町1-954 三重県栄町庁舎5F
 TEL 059-228-9636
 URL <http://www.mie-ankyo.com/>

新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、私ども交通安全協会の運営及び諸活動に深いご理解をいただき、格別のご支援・ご協力を賜りましたことに対しまして、厚く御礼を申し上げます。

また、役員の皆様には平素から地域に密着した交通安全活動に並々ならぬご尽力を賜っておりますことに併せて敬意と感謝を申し上げます。

さて、昨年の交通事故情勢であります。全国的に交通死者数が減少する中、三重県におきましては、112人の方が交通事故で亡くなられ、昨年に比べ18人の増加となりました。

残念ながら、死者数は増加したものの三重県や三重県警察をはじめ、私ども交通安全協会など関係団体等が連携して交通事故防止諸対策を推進しました結果、総事故件数、人身事故件数、負傷者数、物損事故件数は全て減少いたしました。

これは、県民の皆様一人おひとりが、交通事故防止に更なる関心をお持ちいただいたことに加え、関係者の皆様方の多大のご尽力によるものであり、改めてそのご労苦に心から感謝申し上げます。

- 昨年中の、交通死亡事故の実態をみますと
- 65歳以上の高齢者の死者数が全体の半数以上を占めていること
 - 歩行者や自転車乗用者など交通弱者の死者が全体の4割以上を占めていること
 - 飲酒運転等悪質危険な運転による事故が後を絶たないこと

(一財)三重県交通安全協会 会長 余野部 克治

などの特徴が認められ、依然として厳しい情勢にあります。このような厳しい情勢の中、三重県交通安全協会に課せられた使命は重大であり、当協会では、関係機関・団体と連携した活動を一層推し進めるとともに、とりわけ喫緊の課題であります高齢者の事故防止対策として、本年も高齢者の方々の安全意識の向上を図るための各種講演会の開催や高齢者宅訪問指導活動、更には反射材の普及促進をはじめ、街頭啓発、各種イベントなど地域の実情に即した活動を展開して参ることとしております。

このほか、幼児・児童に対する交通安全教育や自転車安全利用に関する広報啓発活動など、いわゆる交通弱者の事故防止にも重点指向した取組みを推進して参ります。

また、飲酒運転の根絶を図るため、平成25年7月1日に「三重県飲酒運転0(ゼロ)をめざす条例」が制定・施行されましたを受けて、当協会が、従前から推進しております「ハンドルキーパー運動」を飲酒運転根絶の県民運動として定着するよう、引き続き、関係機関・団体及び酒類提供関係者等と連携して推進することとしております。交通事故を防止するためには、一人ひとりが交通事故を自らの問題としてとらえ、「自分の命は自分で守る」という安全意識の保持とその一層の高揚化が求められるところでもあります。

道路交通を取り巻く厳しい状況や高齢化社会の進展などを考えますと、交通事故のない社会の実現は容易ではありませんが不可能ではなく、三重県交通安全協会が、民間における交通安全のリーダーとして、その牽引役となり関係機関・団体との連携を一層緊密にして、交通安全思想の更なる普及、浸透に努力して参ることとしておりますので、本年も皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多い年でありますよう、心からご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

平成27年 年間重点目標等

◆年間スローガン

ゆずりあう 心が三重る 道が好き
 ～安全は、あなた自身の心がけ～

◆年間重点目標

- 1 高齢者の交通事故防止
- 2 子どもの交通事故防止
- 3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 4 自転車の安全利用の推進
- 5 飲酒運転の根絶
- 6 夕暮れ時の早めのライト点灯の推進
- 7 反射材の普及
- 8 若年運転者の交通事故防止
- 9 違法迷走感駐車の追放

◆四季の交通安全運動等

- 【春の全国交通安全運動】5月11日(月)～5月20日(水)
- 【夏の交通安全県民運動】7月11日(土)～7月20日(月)
- 【秋の全国交通安全運動】9月21日(月)～9月30日(水)
- 【年末の交通安全県民運動】12月1日(火)～12月10日(木)
- 【夕暮れ時・早朝のライト・オン運動】10月1日(木)～12月31日(木)

◆交通安全強化日

- 【交通事故ゼロを目指す日】全国交通安全運動期間中に実施予定
- 【交通安全の日】毎月11日
- 【高齢者の交通安全の日】毎月21日(土・日)
- 【自転車安全対策強化日】毎月第一日曜日(土・日)
- 【三重県飲酒運転0(ゼロ)をめざす推進運動の日】12月1日(火)

年頭の御挨拶



新年、明けましておめでとうございます。どうぞよい新年をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

三重県交通安全協会会員の皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

旧年中、皆様には、四季の交通安全運動における広報啓発活動を始め、高齢者交通安全アドバイザーによる高齢者宅訪問指導、飲酒運転根絶のためのハンドルキーパー運動の推進など、年間を通じて交通安全意識の高揚のための幅広い交通安全広報啓発活動を展開していただくなど、交通事故防止に多大な御尽力をいただきましたことを、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の本県の交通情勢を振り返ってみますと、人身事故件数及び負傷者数は前年に比べ大幅に減少しましたものの、残念なことに交通死亡事故は増加し、平成22年以来4年ぶりに交通事故死者数が100人を上回りました。

昨年の交通死亡事故を見ますと、その特徴として、

- 65歳以上の方の死者が全体の約半数を占めている
- 四輪乗車中の死者のうち約6割がシートベルト非着用であった
- 飲酒運転による死亡事故が大きく増加した

三重県警察本部 交通部長 永戸 吉朋

ことなどが挙げられます。

そこで、三重県警察では、このような交通事故実態を踏まえ、本年も

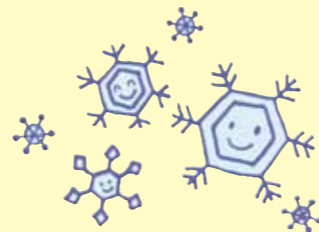
- 子供と高齢者の交通事故防止対策の推進
- 重大事故に直結する飲酒運転、指定場所一時不停止等悪質・危険違反の取締り強化
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ドライバーに緊張感を与える街頭活動

等に重点を置いた交通事故防止対策に引き続き取り組み、「第9次三重県交通安全計画」の最終年である本年の交通事故死者数を75人以下とする目標の達成に努めてまいります。

しかし、こうした諸対策の推進は独り警察だけできず、貴協会を始めとする関係機関・団体の理解と協力のもとに連携した取組が重要と考えます。

そこで、貴協会の皆様には、地域における「交通安全活動のリーダー」として、地域の実情に応じた交通安全活動に一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、貴協会の益々の御発展と皆様の御多幸を心より祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。



平成26年度 三重県交通安全県民大会 開催



平成26年12月1日(月)、津市サンヒルズ安濃ハートホールにおいて、「平成26年度三重県交通安全県民大会」が開催され、「交通安全功労者表彰」、「飲酒運転の根絶に関する功労表彰」、「中部管区警察局長 中部交通安全協会協議会長表彰」のほか、「第11回交通安全全排句・川柳作品コンクール」及び「交通安全メッセ」の受賞者が栄ある表彰を受けられました。

また、表彰式では「飲酒運転0(ゼロ)をめざせ隊」の活動紹介があり、めざせ隊のメンバーが「飲酒運転0(ゼロ)メッセ」を貼り合わせたモザイクアートを披露するなど会場を盛り上げました。

受賞者(団体)は次のとおりです。

◆三重県交通安全功労者表彰

(敬称略)

- 個人の部
 - ・ 順次 (四日市市)
 - ・ 森 一夫 (ク)
 - ・ 齋藤 邦子 (亀山市)
 - ・ 吹上 重一 (伊賀市)
- 団体の部
 - ・ 亀山市南部地区コミュニティ
 - ・ 三重県小売酒販組合連合会

受賞された皆様、おめでとうございます。

◆中部管区警察局長・中部交通安全協会協議会長表彰

交通安全功労者

- ・ 岡田 定久 (桑名市) 以下14名
- 優良運転者
 - ・ 城田 美善 (桑名市) 以下33名
- 交通安全活動功労団体
 - ・ NTN精密樹脂株式会社
 - ・ シャープ株式会社 亀山事業所
- 交通安全功労者
 - ・ 南部 公洋 以下58名
 - 優良運転者
 - ・ 石川 巧 以下110名

◆全日本交通安全協会「緑十字銅章」交通安全メッセ」表彰

- ・ 交通安全メッセ」表彰
 - ・ 児玉 恵里奈 (松阪市山室山保育園)
 - ・ 高井 爽輝 (津市立高野尾小学校)
 - ・ 山本 愛梨 (津市立高茶屋小学校)

第11回交通安全全排句・川柳作品コンクール 最優秀賞

(敬称略)

- 俳句
 - 【一般の部】
 - ・ 横断旗 見つけて止まる 風若葉 (梅田 範雄)
 - 【学生の部】
 - ・ 陣時雨 気をとられずに 前をむけ (佐藤 勝一)
 - 【川柳】
 - ・ 譲られた 嬉しさと忘れず 倍返し (森川 益明)
 - 【学生の部】
 - ・ ここですよ 光が伝える 反射材 (柳生 彩花)

北から南から ~各地区の活動をご紹介~

昨年中は、各地区の皆様には交通事故防止活動にご尽力をいただき、ありがとうございました。本年も、悲惨な交通事故をなくすため、ご支援・ご協力をお願いいたします。

わたしは交通安全協会シンボลมスコットの「ストッピー」です。



買い物客に交通事故防止の呼びかけ



大型ショッピングセンターでの広報啓発活動



自転車利用者に反射材の取り付け指導



反射材着用促進キャンペーン



自転車の安全利用広報啓発活動



高齢者に対する交通安全広報啓発活動



買い物客への交通安全広報啓発活動



通学路における早期交通安全指導



地域の文化祭会場での広報啓発活動



反射材着用促進広報啓発活動



中学校での自転車の安全整備点検と反射材装着指導



早期街頭交通安全指導



街頭における交通安全広報啓発活動



ハンドルキーパー運動推進モデル事業所指定式



街頭における交通安全広報啓発活動



幼稚園での交通安全教室の開催



交通安全子どもカルタ大会の開催



飲酒運転根絶及び反射材着用推進活動